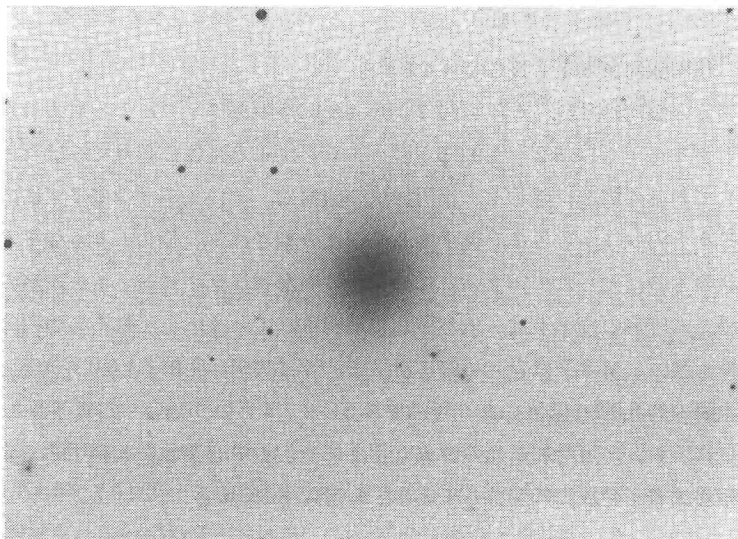


# 廣報

東京大学理学部

楯岡銀河 M87



## 目次

日光で暮して.....	大場秀章.....	2
霜田光一教授に学士院賞.....	清水忠雄.....	3
<学部消息>.....		3

## 《スペクトル》

## 楕円銀河 M 87

楕円銀河 M 87 (NGC 4486)

明るい銀河は Ch. メシエ (1730-1817) のカタログによる M 番号か, J. ドライヤー (1852-1926) のカタログによる NGC 番号で呼ばれる。一見して内部の構造に乏しく, 楕円形状の銀河は, その見かけの偏平率に応じて, E 0 (円状) から E 7 (偏平率 0.7) に分類される。E 7 よりも偏平な楕円形状のものは知られていない。この見かけの形状がラグビー・ボール形の投影か, 湯たんぼ形の投影かは, 依然として解明されていない。三軸不等楕円体の可能性も強い。M 87 はおとめ座にあって, 9.2 等級, 距離 4,100 万光年, 質量は太陽の約 8,000 億倍。カタログ番号 3C 274 という強い宇宙電波源として知られており, 短時間露光の写真 (下) に見える中心部分からの「ジェット」が, 相対論電子の放出に関与している。(MW & KK)

# 日光で暮して

大場 秀章（附属植物園日光分園）

北に行くほど春の訪れは遅くなるかわり、一度に春がやってくると言う。日光分園での植物の開花・開葉日は東京のそれに比べて約1ケ月は遅い。4月中旬になるとアカヤシオが一面薄鼠色の木々の間に紅色の花を開く。降霜に痛められはせぬかと心配な日々を送っているうち、5月になった。いまはオオヤマザクラ、イトザクラといった種々の桜がウメに1週間程遅れて満開を迎え、分園に多いシャクナゲがそれを追いかのように一斉に咲き始めた。いまは申し分のない花の季節であり、数ヶ月前の酷寒の日々の多くを忘れてしまうようだ。だが浴槽に注ぐ水が上から凍り、手桶から零れた湯がすの子板に凍りついてゆくの眺めながら湯につかったことは東京生れの私にはいまだ忘れられない。

附属植物園日光分園は高山植物の研究・実習を行う施設として明治35年(1902)11月5日、栃木県日光市仏岩に設けられた。その後明治42年(1909)に現在の場所(日光市花石町)に土地をえ、同44年(1911)11月に移転した。現在総面積は104490m<sup>2</sup>で、そこに約2500種におよぶ温帯、亜寒帯および高山帯の高等植物を育成している。これらの植物は研究・教育に用いられるだけでなく、小石川本園と同様に園内を一般に公開して植物学に関する知識の普及をもはかっている。現在の分園の植物配置は明治32年(1899)理学部植物学科を卒業し、同42年(1909)から大正14年(1925)まで分園嘱託であった草野俊助博士(当時農科大学助教授)の立案によるところが大きい。日光分園では望月直義(1902~32)、船曳中衛(1932~45)、松村義敏(1945~50)、中村七郎(1950~65)久保田秀夫(1965~78)が歴代主任として分園の管理維持に努めてきた。今度私はその跡を継ぎ分園としてはじめての教授会メンバーとなり、教育・研究上の重責をもはたすことになった。

ここ10年間私はアジアのベンケイソウ科マンネングサ亜科の分類学的研究を行ってきた。ベンケイソウ科は多肉植物のひとつで、アフリカ、北アメリカの乾燥地帯に多数の種類がある一方、ヒマラヤから中国西南部を経て日本にいたる地域にも種類が多く、この地域から今日まで約600種が記載されてきている。一般に多雨なこの地域に多肉なベンケイソウ科植物を多産することは奇妙にみえるが、そこでは高山帯や岩上、樹上など極所的に水の欠乏するところに生育場所が限られていて、やはり生来の耐乾性の強味を存分に発揮しているようにみえる。なかでもヒマラヤの高山帯ではベンケイソウ科植物は風衝岩礫地での優占種のひとつとなっており、種の形態的多様性は著しい。それに多肉植物の腊葉標本の再現性の悪さも加って、ヒマラヤを含むアジアのベンケイソウ科植物は高等植物の中でその分類が最も困難なグループのひとつとされていた。1960年以来継続されている東京大学インド植物調査の一環として1972年と77年にヒマラヤのベンケイソウ科植物の実態にふれ変異の幅もある程度つかむことができた。そこで諸外国の主要ハーバリウムから学名のもとになったタイプ標本を借用して花をはじめ主要な形態上の特徴を再調査し続けてきた。その結果は逐次発表してきたがこの地域にある種類は従来言われていた半数以下の200位であることが明らかになってきた。ところでヒマラヤのベンケイソウ科植物であるが、その栽培はかなりむずかしい。東京では夏の高温に負けてしまうようだ。その点日光の夏は良好であるように思われる。研究の進展にともない生きた植物でなければ調べられないことも多くなってきたので、今度はなんとしても栽培を成功させたいと思っている。

日光分園に移ってまだ間もないが、ここでなければできない研究をやってみたいと考えている。明治期に西洋から植物学が移入されて以来、日本

での植物学の発展は著しい。しかしその反面、西洋においては明治期までにすでに確立され、いわば植物学の基礎を形作っている研究はかえって日本では今日まで殆んど無視されてきたといえる。植物を自然の中でありのまま長い年月にわたって克明に観察するような「植物自然誌」（狭義）の研究もそのひとつであり、決して研究が終った分野ではない。植物学が真の発展を遂げるうえではこのような研究も不可欠ではなからうか。日光分園こそ、こうした長年月を要する自然条件下での植物の研究に適しているのではないだろうか。そこでここしばらく、日光の自然の中で、温帯ア

ジアのバラ目植物を中心に、個体として統一された1個の植物が発芽から次世代の生産（種子生産）を行うにいたるまで、どのような変化をとげながら発展してゆくかを観察・記録しながら、こうした問題についていろいろ考えてゆきたいと思っている。

それにしても長らく便利な本郷や小石川で生活していたことがしばしば思い起される。写真の現像液ひとつを作るのに必要な瓶を得るため、先立って酒屋通いをしなければならぬ時などはことさらである。最後に、このような小附属施設の現状にたいする皆様のあたたかいご理解を期待して拙文をおえます。

## 霜田光一教授に学士院賞

3月12日に日本学士院は本学部・物理学教室の霜田光一教授に「レーザーの物理とそれに基づく分子分光学的研究」に対して学士院賞をおくと発表した。授賞式は6月に予定されている。霜田教授はレーザーの前身、メーザーの開発研究の初期からこれに携わり、その理論、実験の両面、また分光学的応用について多くの先駆的業績をあげられた。またレーザーの出現後もひきつづきその理論的解明、分光学への応用、時間および波長標準への応用などにおいて卓越したアイデアにもと

づく多くの研究成果があることが評価されたものである。日本のレーザーあるいは量子エレクトロニクスの分野において多くの研究者を育成し、組織化することについて果たされた功績も大きい。世界的にみてもレーザー等にかかわる物理的現象を深く追求した少数の科学者の1人であり、ことに分光学的研究においては世界の研究を終始リードしてこられた。この業績により1979年には米国光学会からMees賞が与えられている。

（清水忠雄・物理）

### <学部消息>

昭和55年度

### 教授会メモ

3月19日(水) 定例教授会

理学部4号館 1320号室

1. 前回議事承認
2. 人事異動等報告
3. 昭和54年度卒業生成績決定の件
4. 研究生の入学について
5. 研究生の研究期間延長について
6. 日本学術振興会奨励研究員の受入れについて
7. 昭和55年度受託研究員について
8. 人事委員会報告
9. 会計委員会報告
10. その他

なお、当日、久保教授、佐藤教授、浅田教授ご  
退官にあたり、記念写真の撮影および同送別会を

教授会終了後（5時30分から）学生会館（本郷  
赤門脇）にて開催。

4月23日（水）定例教授会  
理学部4号館 1320号室

1. 前回議事承認
2. 人事異動等報告
3. 研究生の入学について

4. 昭和55年度受託研究員の受入れについて
5. 人事委員会報告
6. 会計委員会報告
7. 教務委員会報告
8. その他

教室主任（施設長）名簿

（55.4.1）

教室名	主任教官	電話番号	教室名	主任教官	電話番号
数学教室	木村（俊）教授	4045	鉱物学教室	竹内（慶）教授	4542
物理学教室	鈴木（秀次）教授	4171	地理学教室	吉川教授	4572
天文学教室	高倉教授	4256	情報科学教室	後藤教授	4113
地球物理学教室	小嶋教授	4300	臨海実験所	寺山教授	4446
化学教室	田隅教授	4327	植物園	古谷教授	4469
生物化学教室	宮沢（辰）教授	4391	地球物理学 研究施設	福島教授	4581
動物学教室	水野教授	4431	素粒子物理学	小柴教授	4231
植物学教室	安楽教授	4461	分光化学センター	田丸教授	4363
人類学教室	埴原教授	4485	中間子科学	山崎教授	4233
地質学教室	木村（敏）教授	4510	地殻化学	富永教授	4346

昭和55年度科学研究費補助金（海外学術調査—現地調査）の内定通知

課題番号	研究代表者	研究課題名	交付内定額
504116	小堀 巖	旧大陸乾燥地帯におけるフォガラ涵養オアシスの比較調査	13,000 <sup>千円</sup>
504119	鈴木 秀夫	オーストラリアとニュージーランドにおける最近の気候変動の研究	10,500
504203	尾本 恵市	ネグリト族の集団遺伝学的調査（第三次）予備調査	800 <sup>千円</sup>
504204	河野 長	中部アンデスの地球物理学的調査 予備調査	3,600

（メモ）

○5月定例教授会（予定）

5月21日（水）午後1時30分より  
理学部4号館1320号室

○五月祭

5月23日（金）～5月25日（日）

○本学部元教授 坂本峻雄殿（地質学教室）

4月25日（金）午後6時50分 ご自宅にて逝去

○教職員・学生懇親会

5月26日（月）午後3時より（雨天の場合は  
6月2日（月）午後3時より）  
本学部附属植物園

## 人 事 異 動

### 〔 助 手 〕

所 属 官 職	氏 名	発令年月日	異 動 内 容	備 考
物 理 助 手	久保寺 国 晴	55. 3. 19	復 職	
物 理 助 手	久保寺 国 晴	55. 3. 31	辞 職	
化 学 助 手	中 川 徹	55. 3. 31	辞 職	
情 報 助 手	木 村 高 久	55. 3. 31	辞 職	
物 理 助 手	橘 秀 樹	55. 3. 31	辞 職	
物 理 助 手	田 中 文 彦	55. 4. 1	復 職	
植 物 助 手	山 登 一 郎	55. 4. 1	休 職	休職予定期間 56.3.31まで
地 質 助 手	福 山 博 之	55. 4. 1	休 職	休職予定期間 56. 3.31まで
地 質	柵 山 雅 則	55. 4. 1	助手に採用	
数 学	上 正 明	55. 4. 1	助手に採用	
情 報	横 川 完 治	55. 4. 1	助手に採用	
動 物	深 町 博 史	55. 4. 1	助手に採用	
植 物	北 潔	55. 4. 1	助手に採用	
生 化	東 島 勉	55. 4. 1	助手に採用	
物 理	篠 原 俊 二 郎	55. 4. 1	助手に採用	
物 理	三 田 常 義	55. 4. 1	助手に採用	
化 学 助 手	鈴 木 薫	55. 4. 1	配置換	物性研から
物 理	新 井 一 郎	55. 4. 16	助手に採用	
物 理	石 井 克 哉	55. 4. 16	助手に採用	
物 理 助 手	村 山 和 郎	55. 4. 18	休 職	休職予定期間 56.3.31まで
中 間 子	山 本 明	55. 4. 16	助手に併任	高二研助手
物 理	中 田 弘 章	55. 5. 1	助手に採用	

### 〔 講 師 以 上 〕

所 属 官 職	氏 名	発令年月日	異 動 内 容	備 考
物 理 講 師	遠 山 潤 志	55. 3. 16	助教授に昇任	
物 理 講 師	長 沢 信 方	55. 3. 16	助教授に昇任	
生 化 助 手	大 野 哮 司	55. 3. 16	講師に昇任	
動 物 助 手	竹 内 重 夫	53. 3. 16	講師に昇任	
植 物 園 助 手	大 場 秀 章	55. 3. 16	講師に昇任	
物 理	小 林 孝 嘉	55. 4. 1	助教授に採用	
化 学 助 教 授	秋 葉 欣 哉	55. 4. 1	広大(理)教授に昇任	
化 学 助 教 授	吉 田 政 幸	55. 4. 1	図書館情報大教授に昇任	
物 理 教 授	久 保 亮 五	55. 4. 2	停年退職	
地 理 教 授	佐 藤 久	55. 4. 2	停年退職	

所属官職	氏名	発令年月日	異動内容	備	考
地球教授	浅田 敏	55. 4. 2	停年退職		
地理助教授	阪口 豊	55. 4. 16	教授に昇任		
地球助教授	佐藤 良輔	55. 4. 16	教授に昇任		
地球助教授	永田 豊	55. 4. 16	教授に昇任		
化学助手	岡崎 廉治	55. 4. 16	助教授に昇任		

〔併任教授〕

所属官職	氏名	発令年月日	異動内容	備	考
物理	江橋 節郎	55. 4. 1	教授に併任 56.3.31まで	医学部	教授
素粒子	木村 嘉孝	55. 4. 1	教授に併任 56.3.31まで	高工研	教授
素粒子	武田 暁	55. 4. 1	教授に併任 56.3.31まで	東北大	教授

〔一般職員〕

所属官職	氏名	発令年月日	異動内容	備	考
化学	宮内 郁子	55. 3. 1	文部事務官に採用		
情報	飯沢 隆夫	55. 3. 1	文部事務官に採用		
物理	西山 樟生	55. 4. 1	文部技官に採用		
動物	桐田 敦子	55. 4. 1	文部技官に採用		
物理	中村 浩子	55. 4. 1	文部事務官に採用		
数学	上田 益永	55. 4. 1	文部事務官に採用		
中間子事務官	塩見 イソコ	55. 4. 1	配置換	物理から	
事務庶務掛長	安彦 博	55. 4. 1	社研庶務掛長に配置換		
事務大学院掛主任	石崎 雄三	55. 4. 1	法学部大学院掛長に昇任		
事務事務官	吉田 農夫男	55. 4. 1	配置換	アイソトープ総合センターへ	
事務庶務掛長	菊池 敏昭	55. 4. 1	庶務係長に配置換	社研から	
事務事務官	松 永 茂	55. 4. 1	配置換	アイソトープ総合センターから	
数学事務官	上田 益永	55. 4. 14	辞職		
物理事務官	飛塚 淳子	55. 4. 16	転任	山形大へ	
事務事務長補佐	杉森 政雄	55. 4. 30	辞職	勸しょうによる	
物理事務官	榎野 幸子	55. 5. 1	転任	山形大から	

## 外国人客員研究員

所属	国籍	氏名	現職	研究期間			
化学	ノルウェー	ジェル Kjell	ウンデンハイム Undheim	オスロ大学助教授	55. 2. 15 ~ 55. 3. 15		
地質	韓国	Chon 全	Hyo Taek 孝 沢	ソウル大学講師	55. 2. ~ 56. 1		
物理	中国	ユウ 庚	チン 鎮	ジョウ 城	上海復旦大学 遺伝学研究所教授	55. 4. 1 ~ 56. 3. 31	
地理	韓国	オー 呉	ケン 建	カン	釜山女子大学助教授	55. 9. 1 ~ 56. 8. 31	
化学	ソ連	ヴォ G. A	ロビ Vorobyeva	ヴェ 研究所研究員	モスクワ物理化学	55. 4. 21 ~ 56. 4. 20	
地理	日本	アラ 荒	カワ 川	アキ 昭	オ 夫	カリフォルニア大学教授	55. 4. 14 ~ 55. 7. 13

## 永年勤続者表彰

東京大学

石井 栄一 (4月12日 表彰)  
 石渡 丈夫 (4月12日 表彰)  
 鵜沢 淑子 (4月12日 表彰)  
 片岡 最 (4月12日 表彰)  
 下園 文雄 (4月12日 表彰)  
 高野 敬 (4月12日 表彰)  
 高橋 劉介 (4月12日 表彰)

東京大学

芳賀 甚吉 (4月12日 表彰)  
 原村 寛 (4月12日 表彰)  
 堀 弘一 (4月12日 表彰)  
 山下 博 (4月12日 表彰)  
 杉森 政雄 (4月30日 表彰)

文部省

杉森 政雄 (4月30日 表彰)

## 海外渡航者

所属	官職	氏名	目的国	期間	目的
素粒子	助手	佐藤 朝男	ドイツ連邦共和国	3. 1~ 56.2.28	国際協同実験 J A D E 参加のため
動物	助教授	村上 彰	ドイツ連邦共和国	3. 1~9. 1	軟体動物二枚貝における繊毛系の受容器生理学に関する研究のため
植物	助手	新免 輝男	アメリカ合衆国	3. 1~4.30	植物細胞膜の生物物理学的研究のため
鉱物	教授	竹内 慶夫	アメリカ合衆国	3. 2~3.14	国際回折データセンター・標準粉末回折像協議会年会, 評議会出席及びX線結晶学に関する調査のため
地物	教授	岸保 勘三郎	アメリカ合衆国	3. 8~3.19	大規模山岳系の気大循環に及ぼす影響に関する共同研究実施の為



所属官職	氏名	目的国	期間	目的
地理 助教授	小堀 巖	インド	3.12~3.22	国際半乾燥熱帯作物研究所プログラム委員会及び理事会出席のため
生化 教授	宮沢 辰雄	アメリカ合衆国	3.23~3.30	生物学医学の核磁気共鳴分光シンポジウム出席および生物物理化学の研究連絡のため
化学 教授	田丸 謙二	中華人民共和国	3.20~3.30	化学に関する学術交流のため
鉱物 助教授	武田 弘	アメリカ合衆国	3.15~3.29	第11回月・惑星科学会議出席および南極隕石・月試料に関する研究連絡のため
化学 教授	向山 光昭	中華人民共和国	3.20~3.30	有機合成化学に関する学術交流のため
植物 助手	原山 重明	スウェーデン	3.11~9.10	大腸菌走化性の遺伝生化学的研究のため
素粒子 助教授	山田 作衛	フランス ドイツ連邦共和国	3.14~3.27	弱電磁相互作用と統一理論に関するモリオン会議出席およびDESYでのプログラム委員会出席, JADE実験に関する打合せのため
物理 講師	若林 健之	連合王国 ドイツ連邦共和国 スイス・オーストリア	3.15~4.7	筋収縮に関するアルプバッハシンポジウム出席および物理学に関する研究連絡のため
地物 教授	竹内 均	マリアナ諸島 ミクロネシア	3.27~4.1	太平洋地域における地球物理学的研究のため
情報 教授	後藤 英一	オランダ	3.1~3.10	国際情報処理学連盟80年会議プログラム委員会出席のため
物理 助教授	釜江 常好	アメリカ合衆国	3.1~3.30	電子・陽電子衝突型加速器による新粒子検出実験のため
化学 助教授	近藤 保	アメリカ合衆国	3.8~3.28	準安定希ガス原子と気相及び凝縮相分子間のエネルギー移動過程に関する共同研究実施並びに化学反応学に関する研究連絡のため
地物 助手	松井 孝典	アメリカ合衆国	3.14~4.9	第11回月・惑星会議出席および惑星学に関する研究のため
化学 教授	大木 道則	アメリカ合衆国	3.22~4.2	アメリカ化学会年会およびアспен化学・生化学会議出席のため
地物 教授	岩保 勘三郎	オランダ	3.24~4.5	世界気候研究計画会議出席のため
天文 教授	海野 和三郎	ドイツ連邦共和国	3.26~5.31	理論天体物理学に関する研究のため
数学 助教授	飯高 茂	台湾	3.27~4.4	代数幾何の研究のため
物理 助教授	二宮 敏行	デンマーク 連合王国 ドイツ連邦共和国 アメリカ合衆国	3.18~6.29	非晶質固体・転位の研究および物理系の転位模型国際会議出席のため
中間子 助手	早野 龍五	カナダ	3.10~3.20	ミュオン実験のため
数学 教授	小松 彦三郎	ドイツ連邦共和国	3.29~4.8	超函数と偏微分方程式会議出席のため
化学 助手	藤原 祺多夫	アメリカ合衆国 公海上(北西部 北太平洋)	4.25~6.18	北西部北太平洋の海水混合の化学的研究のため

所属官職	氏名	目的国	期間	目的
植物教授	飯野 徹雄	アメリカ合衆国	4.10~4.14	組換えDNA実験の安全評価に関するワークショップ出席のため
情報教授	国井 利泰	アメリカ合衆国	4.16~4.26	情報科学に関する研究連絡のため
物理助手	中村 健蔵	アメリカ合衆国	4.21~4.30	電子・陽電子衝突型加速器による新粒子検出実験のため
人類教授	尾本 恵市	フィリピン	4.23~5.9	ネグリティ族の集団遺伝学的調査(第三次)予備調査のため
物理助手	村山 和郎	アメリカ合衆国	4.18~ 5.6.3.31	アモルフェス半導体の物理学に関する研究のため
地物研教授	小口 高	カナダ	4.21~4.28	オーロラ共同研究結果の打合せのため
化学教授	向山 光昭	大韓民国	4.24~4.27	有機合成化学に関する日韓合同シンポジウム出席のため
化学教授	藤原 鎮男	ドイツ連邦共和国	4.28~5.6	国際ドキュメンテーション連盟理事会出席のため
化学教授	不破 敬一郎	大韓民国	4.24~4.28	韓国化学会春季年会出席のため

## 理 学 部 卒 業 者

昭和53年3月28日卒業

### 数 学 科

青山 尚夫	中森 信弥	吉 荒 聰	植野 義明
片岡 健一郎	久我 健一	釘宮 公人	笹島 誉行
杉本 芳輝	田中 稔	高瀬 邦彦	高野 明彦
中村 慎	中村 哲治	村田 嘉弘	森 俊樹
山口 浩	吉沢 俊	青木 昇	石塚 彰映
小野 純一郎	桂 英治	川岸 太郎	木村 宏一
桐山 宣雄	黒瀬 博靖	小林 亮一	佐藤 忍
斉藤 秀司	鈴木 康正	田村 光弘	辻 元
筒井 亨	丹羽 芳樹	古川 昭夫	前田 多可雄
三松 佳彦	宮崎 哲朗	村上 順	雪江 明彦
吉沢 容一	田村 要造		

(42名)

### 情 報 科 学 科

安崎 篤郎	安次富 伸浩	飯沢 篤志	石垣 一司
石原 美由紀	神谷 慎吾	清水 謙男	鈴木 重信
萩谷 昌己	藤田 哲也	堀田 耕一郎	

(11名)

### 物 理 学 科

蓑田 毅	浅井 朗	植木 康德	大木 康之
笠野 章	向後 久美子	坂本 浩一	田淵 俊宏

古野毅  
天野主税  
上村裕  
岡田安弘  
草刈利彦  
佐々木雄史  
田ノ上修二  
陳榮浩  
長沼和則  
真下哲郎  
由良信介

峯木英治  
井倉康雄  
及川秀夫  
片山伸彦  
蔵堀夏夫  
齋藤信雄  
滝本淳一  
峠暢一  
新田淳  
山田琢磨  
吉永尚孝

宮崎信行  
居田克巳  
太田滋生  
河合誠之  
桑田真一郎  
齋藤理一郎  
武末真二  
富岡明宏  
野津山幸卓  
山中卓浩  
渡邊浩

安賀裕子  
石田勝彦  
大塚尚宏  
北沢良久  
佐々木茂樹  
高田充幸  
全卓樹  
鳥塚健二  
服部哲弥  
湯本誠司

(51名)

天文学科

植田龍男

金光理

松坂茂

(3名)

地球物理学科

須崎純一  
小河正基  
西祐司  
藤本光一郎  
蓬田清

横田光史  
楠昌司  
橋本道明  
増田耕一  
渡部行男

石田十郎  
佐々木誠  
日比谷紀之  
山田真吾  
竹田宏

遠藤猛  
進藤武彦  
平岡規之  
山野誠

(19名)

化学科

倉田洋平  
秋山隆彦  
小川誠一  
大林康男  
北村孝守  
高井治明  
長瀬敏雄  
広瀬卓司  
村井良行  
藪邊正海

末村耕二  
荒牧晋司  
尾沢潤一  
加藤修司  
斉藤昭男  
田尾博明  
高浜裕宣  
中村敏夫  
円井省吾  
望月昭宏  
山下仰

横畑彰人  
池川昭彦  
小淵存行  
片木敏良  
斉藤彰幸  
寺西雅也  
長谷川哲弘  
三種美彦  
森健智

赤木右  
石橋正己  
大野明子  
菊地耕一  
瀬戸孝俊  
田中能之  
戸濶一孔  
長谷川とし子  
三輪哲生  
八木沢雅子  
若木政利

(45名)

生物化学科

石川文雄  
浅田誠  
田村徹太郎  
中山直樹

菱沼敦  
井上直樹  
泰地睦夫  
野田道雄

細谷浩史  
神坂泰修  
千坂千尋  
濱千尋

吉田英哉  
川口謙  
中西徹宏  
樋口昌宏

道下明生	南康文	宮尾光恵	森島信裕
山下豊春	山本百合子		(22名)

生物学科(動物学)

浅見順子	大谷律子	大和田隆	志賀隆
島田義也	高橋美智	中村哲夫	村上柳太郎
山口正晃			(9名)

生物学科(植物学)

玉山光典	許斐康嗣	網野真一	小関良宏
大石圭子	久保多恵子	谷本弘一	寺島一郎
中川いづみ			(9名)

生物学科(人類学)

石田貴文	金子隆一	西垣敏紀	三隅克美 (4名)
------	------	------	-----------

地学科(地質学・鉱物学)

金川久一	金原靖久	小屋口剛博	高田亮
高畑努	中西穂高	早川由紀夫	平野昌弘
星一良	細山田浩一	守屋成博	家城康二
山田清司	渡邊道明		(14名)

地学科(地理学)

加藤明	杉谷隆	高木善孝	吉成直樹
石田信浩	岩井信之	平井幸弘	松原彰子
松本淳	義則晃	中嶋茂雄	(11名)
			(合計 240名)

## 大学院修士課程修了者

昭和55年3月29日修了

数 学

石井清	上正明	打越敬祐	大石圭太
逢坂範彦	岡宏枝	加藤裕一	岸野洋久
木村英一	木村弘信	小池和彦	黄雙虎
小室睦	齋藤盛彦	佐藤篤之	菅野孝史
田中洋平	谷崎俊之	中根静男	成瀬弘
傳坤煌	古川吉弘	榭田幹也	三好透
村山令二	尹仙淑		(26名)

物理学

相原博昭	石内秀美	石川千秋	伊藤敦
稻葉豊	梅本康成	上井邦彦	江間泰示
大熊謙治	岡田拓史	尾高茂	甲斐直行之
川合光弘	川田能成	神前純一	北川博文
源間信	小磯晴代	小机わかえ	小森和清
崎本一博	笹川文義	辛	常信
鈴木良夫	高松洋子	滝川仁	竹森直
田子一農	谷口浩平	辻俊一	豊島近夫
中泉明彦	永井聰	樋浩	長谷川裕夫
長谷川泰正	泰田信宏	阪東寛	日笠健一
深川悦一郎	前田喜久	松山晶彦	宮寄正則
森田章夫	吉田宣章	八木康之	山内正仁
		李昌林	渡邊仁 (52名)

天文学

相馬充	常田佐久	長谷川哲夫	渡邊正明 (4名)
-----	------	-------	-----------

地球物理学

青木繁明	天野博	今井博	岩崎伸一
宇平幸一	金子郁雄	北村佳照	額額一起
佐藤博樹	滝上豊茂	当舍利行	西山敦男
平田直彦	藤田鮮	本多	山本和男
輪座利彦			(18名)

化学

浅見正弘	家近泰	板垣秀幸	井上薰
上榊勇	歌川晶子	江川千佳司	大島茂
柿崎文彦	金井豊浩	川幡穂高	金藤栄孝
斎藤茂樹	齋藤浩道	佐々木高義	佐野有司
斯波久二雄	島田広正	清水敦一	鈴木啓介
関成孝	高橋正博	千葉光一	土屋弘雄
中塚隆夫	中野和仁	中山陽一	西村小百合
根岸良己朗	橋本茂樹	畑井正宏	藤倉尾基之
藤本克己朗	森裕平	山崎裕文	吉岡康弘 (40名)

生物化学

天野芳和	石野史敏	植村浩	榎森康文
小俣達男	菊池尚志	熊谷博道	栗原達也
小安重夫	齋藤公	渋谷況	嶋田一夫

田中敏 内藤哲 野元裕 丸山和夫  
柳沼克幸 (17名)

動物学

岡良隆 上村慎治 小路武彦 塩尻信義  
中土義章 野中浩一 引地尚子 松下晋  
最上善広 (9名)

植物学

岡本進 佐藤良 津田雅孝 峰雪芳宣 (4名)

人類学

小泉清隆 佐野敏行 諏訪元 高橋秀雄 (4名)

地質学

植杉一夫 小澤一仁 孔栄世 白尾元理  
田吹亮一 千木良雅弘 中嶋悟 中村光一  
永原裕子 長谷川修一 細田一郎 山口尚志  
山本滋樹 (13名)

鉱物学

城石登 (1名)

地理学

北島晴美 (1名)

相関理化学

柏木順二 加藤裕 菊地慶祐 杉原英光  
鈴木芳生 高橋悦子 高橋慎一郎 中村豊一  
野崎秀俊 馳澤盛一郎 畠山晶 平野昌彦  
藤井直之 (13名)

科学史・科学基礎論

井山弘幸 楠葉隆徳 忽那敬三 小林傳司 (4名)  
(合計 206名)

# 大学院第1種博士課程修了者

昭和55年3月29日（86名）

専門課程	氏名	論文題目
数 学	青 木 茂	SL(2, R)の普遍被覆群上でのベイリー・ウイナー型の定理
同	橋 本 喜一朗	4元数体上の正值エルミート形式に付随するプラント行列の研究
物 理 学	有 光 敏 彦	パラメトリック過程, レーザー及びボーズ凝縮の統計力学的研究
同	碓 寛	水晶中のポジトロニウム—実験とその解釈—
同	池 田 博	一次相転移における擬臨界現象
同	石 井 克 哉	円管流中の球状粒子の lateral migration
同	市 村 淳	重イオン非弾性散乱 ( $^{18}\text{O}$ , $^{18}\text{O}^*$ )におけるクーロン・核干渉現象
同	井 上 猛	高ステージグラファイト層間化合物におけるフォノンによる電気抵抗および電子フォノン相互作用の理論的研究
同	宇佐美 寛	強磁性金属に対するスピンのゆらぎの理論
同	井 出 勝 宣	かにバルサーからの重力波の観測
同	岡 真	クォーク模型によるバリオン・バリオン相互作用
同	窪 田 高 弘	一般化されたウィルソン展開における高次補正と相反関係について
同	小 池 洋 二	グラファイト・アルカリ層間化合物の超伝導の研究
同	小 出 常 晴	応力変調法によるアルカリハライド中の励起子の光学的研究
同	小 林 俊 雄	原子核による $\pi$ 中間子吸収
同	小 林 伸 好	リンを多量に含むシリコンの比熱の研究
同	篠 塚 雄 三	格子緩和を伴う深い不純物準位と無輻射再結合—2バンド・モデルによる断熱的取り扱い—
同	鈴 木 直 仁	準弾性光散乱法による棒状高分子溶液の研究
同	田 原 謙	X線天文衛星「はくちょう」によるMXB 1730—335の観測
同	中 里 和 郎	—光—磁気電気効果
同	中 野 昇	レーザー生成プラズマにおける自発磁場
同	中 村 春 木	フーリエ合成擬似雑音誘電スペクトル測定装置による生体高分子電解質の研究
同	中 村 幸 男	強磁場中における相対論的電子ビームとプラズマの相互作用実験
同	西 岡 泰 城	$\text{hep}^4\text{He}$ , $^3\text{He}$ , $^3\text{He}-^4\text{He}$ の混合系の塑性変形
同	原 田 実	設計課程の形式化—インタラクティブデザインのためのシステムの形式的基礎として
同	飛 田 和 男	非平衡秩序相における不均一状態—超伝導体と液晶—
同	福 井 泰 雄	$6\text{Ge} \nu/c \pi - p$ 反応の研究
同	松 居 哲 生	2次元O(3)及びO(4)スピン系に対する双対変換
同	松 島 房 和	分子線を用いたレーザー分光法の開発
同	松 葉 育 雄	Benard系での逐次転移に対するside-wallの影響
同	宮 内 則 雄	$\gamma\text{-Fe}_2\text{O}_3$ 微粒子のNMRによる研究
同	横 川 完 治	球表現に基づく画像処理

専門課程	氏名	論文題目
天文学	浮田 信治	Si <sub>o</sub> メーザ輻射の時間変化
同	尾中 敬	回転楕円体粒子による光の散乱について
同	蜂巣 泉	回転する自己重力ガス円盤の重力熱力学的及び重力自転的破局
同	宮路 茂樹	電子捕獲起因型超新星爆発
同	渡辺 鉄哉	晩期型星の熱的恒星風について
地球物理学	岩上 直幹	窒素族大気光の分光学的研究
同	加藤 照之	日本の地殻上下変動に関する総括的研究
同	末 広 潔	日本島孤地域下の沈み込みリソスフィアおよびアセノスフィアの構造
同	瀬野 徹三	宮城県沖におけるサイヌモテクトニクスの研究
同	横倉 隆伸	地球のマントルの粘性率：沈み込むスラブの動的な支え及びその他の地球物理学的証拠からの推論
化学	浅見 真年	(S)-2-(置換アミノメチル)ピロリジンをを用いる不斉合成反応の研究
同	石川 俊一	シンクロフォンの励起状態と光化学反応
同	和泉 儀一	トリブチセン誘導体における1,9位一置換基間の引力的相互作用の研究
同	今井 登	NMRおよび電気化学的手法による鉄貯蔵蛋白質フェリチンの研究
同	大岡 正治	1,6-二置換-1,3,5-シクロヘプタトリエン類の合成と含硫橋かけ複素環化合物の反応
同	大柳 宏之	EXAFSによる非晶質半導体の構造的な研究
同	尾中 薫	カルボン酸ピリジルエステル類及びスーフエニルスルフィニル酢酸を用いる合成反応の研究
同	小原 義夫	硫黄及び窒素を含む化合物のアルキル化とベンゾチアゾリニウム塩のStevens転移反応
同	菊地 博美	9置換1,2,3,4,テトラクロロトリブチンセン類回転異性体の反応性の研究
同	木村 順治	芳香族ポリアミドのモデル化合物の溶解度に対する無機塩の効果に関する研究
同	杉本 弥生	ニガキアルコールの構造研究及びフラノエレモフィラン系セスキテルペンの全合成
同	竹村 謙一	高圧下におけるヨウ素の構造
同	塚田 秀行	トリブチセン誘導体の光反応の研究
同	中川 邦明	赤外および可視レーザーによる気体分子の振動回転および電子状態の研究
同	永野 修	ポリモリブデン酸塩のクラウン化合物錯体に関する構造学的研究
同	日野 京子	金属-金属結合-複核錯体の電子密度分布
同	松井 和則	分子および分子錯体の励起三重項状態の光検出磁気共鳴
同	見上 真美	スピントロニクス錯体の結晶構造とスピン相転移
同	宗像 利明	電子分光法による分子および固体表面のベニングイオン化過程の研究
同	横山 泰	転位ルパン化型化合物の合成と反応



専門課程	氏名	論文題目
生物化学	飯泉 仁	アマモ ( <i>Zostera marira</i> L.) 場における窒素循環
同	大島 治之	MM 46 腫瘍細胞表面抗原の解析
同	小野 高明	ラン藻, <i>Anacystis nidulans</i> の低温感受性
同	助永 義和	ウシカルボキシンペプチダーゼ B の活性中心領域におけるリガンド結合の研究
同	中野 明彦	<i>Thermus Thermophilus</i> より得られたポリペプチド鎖延長因子 Tu の残基の役割: プロトン核磁気共鳴による研究
同	東島 勉	NMR による溶液中における生理活性ペプチドのコンフォメーションの解析: コンフォメーションの活性相関について
同	宮島 篤	大腸菌ポリペプチド鎖延長因子 EF-Tu の生合成とその調節
同	横田 崇	大腸菌ポリペプチド鎖延長因子 Tu (EF-Tu) の一次構造: tu f A 遺伝子の塩基配列
動物学	平良 珠美子	鳥類胚における肝上皮の起源およびその発生における誘導過程の解析
同	平良 真規	グルココルチコイドに対する感受性を異にする肝および肝癌由来の細胞株のホルモン作用機構の解析
同	浜口 順子	ジェチルニトロソアミンによるメダカ肝腫瘍形態学的研究
同	山口 和彦	コイ嗅球僧帽細胞のリズム放電とその神経機構
植物学	都筑 幹夫	光合成におけるカーボニック・アンヒドラーゼの役割に関する研究
地質学	岡田 豊	<i>Ruggieria bisanensis</i> (甲殻類, 介形虫) の背甲の微細構造
同	小坂 和夫	カコウ岩質岩の断層に関係したファブリック
同	柵山 雅則	白馬大池, 妙高, 黒姫火山におけるマグマの混合と結晶作用, および東北日本第四紀火山岩にもつそれらの意味
鉱物学	井上 厚行	モンモリロナイト-イライト転移と反応の中間段階に存在する両者の混合層鉱物の研究
同	佐藤 元	$\text{LiScSiO}_4$ オリビンの結晶構造に対する高温高压の影響
同	留岡 和重	$\text{Cu}_2\text{S}-\text{Bi}_2\text{S}_3$ 系における Modulated Structure の研究
同	村上 隆	高温におけるプロトエンスタタイトとその類縁鉱物の結晶化学的研究
相関理化学	渥美 茂明	クラウンゴールにおける IAA 生産に関する研究
同	伊藤 達夫	非線形発展方程式の解の分岐と安定性
同	内田 勉	糖脂質の免疫化学的研究及びその生物学的応用
同	大野 茂男	コリン E 3 の構造と機能に関する研究
同	小玉 祥生	イオン結晶のコンプトンプロファイルの研究
同	前沢 秀樹	IPD-I 再結合プラズマの研究

昭和55年1月21日付 理学博士の学位授与者

専門課程	氏名	論文題目
論文博士 (化学)	佐藤 昭一	遷移金属錯体の構造と円偏光二色性
相關理化学	小林 義輝	ヒト精子鞭のチュープリンに関する研究
論文博士 (生物化学)	塩沢 千秋	抗体生産におけるB細胞トリガーの機構
同 (鉱物学)	神谷 和秀	結晶の非対称単位内に含まれる独立な2分子間の擬対称関係
地球物理学	西谷 忠師	チタノマグネタイトの低温酸化およびその玄武岩中の残留磁化へ及ぼす影響
論文博士 (相關理化学)	猿渡 正俊	光伝送用小形 $\text{LiNdP}_4\text{O}_{12}$ レーザの研究
同 (数学)	西森 敏之	余次元1葉層構造のSRH一分割とGoddillon-Vey類
人類学	石崎 寛治	ヒトおよびその他の哺乳動物細胞におけるDNA修復機構の研究
物理学	松本 哲明	量子カラー力学におけるハドロニカ学

昭和55年2月18日付 理学博士の学位授与者

論文博士 (地球物理学)	岡田 義光	理論歪地震気象とその応用
同 (生物化学)	長谷川 護	L-グルタミン酸生産菌の生産する $\gamma$ -グルタミルペプチドに関する研究
同 (動物学)	重井 陸夫	東支那海及び南朝鮮, 九州, 琉球, 台湾沿岸海域のウニ相の研究
同 (化学)	鎌田 利紘	8,9,10,11-テトラヒドロ-7H-シクロオクタ[de]ナフタリン系の化学的研究

昭和55年3月10日付 理学博士の学位授与者

物理学	平 洋一	色素レーザーによる超短パルスの発生とその非線形光学への応用
同	青木 弘	有限振幅の水面定在波
同	別生 栄	二本のプラズマ柱の結合に関する実験
同	林 秀知佳	多次元同時計測法による生体高分子の精密, 自動計測
地球物理学	深沢 理郎	浅瀬付近の微細な海洋構造
同	高橋 文穂	気球観測により得られた成層圏水蒸気量
植物学	丸田 恵美子	生産力の低い立地での植物の定着に対する物質生産と水収支の意義について
同	川崎 信二	タバコ培養細胞のゴルジ体の研究
相關理化学	青木 孝之	ヘリウム液面上の二次元電子系におけるホットエレクトロン効果
論文博士 (人類学)	大塚 柳太郎	オリオモのバブア人一生計と適応
同 (相關理化学)	大隅 萬理子	繊維状フェージf1とpSC101プラスミッドのin vivo Recombinantに関する研究

専門課程	氏名	論文題目
論文博士 (物理学)	諫川 秀	鉛、ニオブウム及び窒化ニオブウムのCバンド超伝導高周波空洞共振器の研究
同 (地球物理学)	佃 為成	P波の波形から求めた微小地震の震源過程と地殻内における破壊領域の構造
同 (化学)	小倉 啓男	単一パルス衝撃波管によるアセチレン高温反応の研究
同 (物理学)	高橋 慶紀	遍歴強磁性のスピン揺らぎの理論
同 (相関理化学)	大成 逸夫	構造相転移点近傍におけるタンネリング模型の動的性質とセントラル・ピークの研究
同 (化学)	松村 芳美	微晶質炭素の表面特性
同 (化学)	藤田 芳司	転位反応を利用するテルペノイド類の合成研究
同 (植物学)	宝月 大輔	<u>クロレラ生育時のCO<sub>2</sub>濃度の光合成炭酸固定に及ぼす影響</u>
同 (数学)	片岡 清臣	境界値問題の超局所理論
同 (数学)	田原 秀敏	特異双曲系の理論
同 (植物学)	野口 哲子	<u>ミクラステリアスクルクスメリテンシスのゴルジ装置に関する細胞学的研究</u>

本年度の表紙写真は天文学教室で撮影した銀河です。

---

編集：

飯 高	茂(数学)	内線	4053
平 川	浩正(物理)		4141
小 平	桂一(天文)		4258
露 木	彦(化学)		4357
尾 本	恵市(人類)		4482

---